

院外処方における疑義紹介簡素化プロトコル（第1版）に基づく同意取得状況															
	2025/6/20現在	外科		内科						整形外科		放射線科	訪問診療	麻酔科	
	※敬称略														
大分類	小分類	曾山	藤居	高松	山浦	蛭原	大森	松村	小島	前島	荒井	鹿島田	岩村	橋本	
(ア) 銘柄・規格・包装	1)成分が同一の銘柄変更	○	○	○	○		○		○	○	×	○	○	○	
	2)複数規格がある内服薬の規格変更 （用法用量・適応が同一の場合に限る）	○	○	○	○		○		○	○	×	○	○	○	
	3)貼付剤、軟膏類の包装単位の変更（総量が同一の場合に限る）	○	○	○	○		○		○	○	×	○	○	○	
(イ) 患者希望による剤形・一包化	4)患者希望による内服薬の剤形変更（用法用量・適応が同一に限る）	○	○	○	○		○		○	○	×	○	○	○	
	5)患者希望あるいはアドヒアランス不良が改善されると判断できる一包化(保険請求を伴う変更を含む)	○	○	○	○		○		○	○	×	○	○	○	
	6) 患者希望による外用貼付剤のパップ剤、テープ剤相互の変更 （成分・含有量・枚数が同一の場合に限る）	○	○	○	○		○		○	○	×	○	○	○	
(ウ) 投与日数	7) 残薬があるため処方日数・回数を減らす（屯服薬・外用薬を含む） ただし、変更後の最低数は1とする	○	○	○	○		○		○	○	×	○	○	○	
	8) 次回外来（受診予約が確認できる場合）まで処方日数が足りない為、処方日数を延長する。ただし、次回外来受診日までに休業や中止の指示がなく継続と判断できる場合に限る。	○	○	○	○		○		○	○	×	○	○	○	
	9) DDP-4阻害薬、ビスホスホネート製剤、GLP-1受容体作動薬の週一回または月一回製剤が、連日投与のほかの処方薬と同一日数で処方されている場合の処方日数の適正化	○	○	○	○		○		○	○	×	○	○	○	
	10) 「一日おきに服用」「透析日」「非透析日」と指示された処方薬が、連日投与のほかの処方薬と同一日数で処方にされている場合の処方日数の適正化	○	○	○	○		○		○	○	×	○	○	○	
(エ) 用法用量	11) 屯服薬・外用剤の具体的な用法用量が、口頭で指示されている場合の用法用量の追記	○	○	○	○		○		○	○	×	○	○	○	
(オ) その他	12) 当該抗菌薬併用時における非耐性整腸剤から同耐性整腸剤への変更（定期服用の場合は除く）	○	○	○	○		○		○	○	×	○	○	○	